

地域密着型サービス自己評価票

- 指定小規模多機能型居宅介護
(指定介護予防小規模多機能型居宅介護)
- 指定認知症対応型共同生活介護
(指定介護予防認知症対応型共同生活介護)

(よりよい事業所を目指して。。。)

記入年月日	平成 20 年 11 月 20 日
事業所名	グループホームチアフル友明かり
事業所番号	2372201380
記入者名	職名 ハウスリーダー 氏名 岡上 淳子
連絡先電話番号	

(様式1)

自己評価票

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	◎地域で認知症の方が普通に生活出来る大切さ、GHの役割等を話し合い推進を図っている。 ●散歩や買い物に出かける時はコミュニケーションがとれる様になっている。 ○外出し近所の方に出会った時は何時でもコミュニケーションがとれるよう心がけている。	○ ●外で地域の方に出会った時には気軽に声をかけて頂ける様楽しい雰囲気作りをしていきたい。
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	◎リーダーミーティング・ミーティング等で理念が話題に上がっている。新しい職員の研修等でも説明している。 ●理念を思い出しながら一日を楽しく生活出来る様努力している。 ○基本理念を職員と共有し、合い明るいホーム作りに取り組んでいる。	○ ◎職員全員が自分の言葉で理念を語れるように指導して行きたい。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	◎地域運営推進会議時には、町内会、老人会、地域包括センターの方に繰り返し説明している。地域の実情にあわせ取り組んでいる。 ●家族が来られた時は利用者の様子を報告し事業所の理念も解って頂ける様心がけている。 ○散歩の途中で地域の方と出会えば声かけし利用者様に話かけて頂く様努力している。	○ ○家族の方の不安を取り除ける様、ホームの理念を伝えていきたい。
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	◎管理者、職員は積極的に挨拶を行い、散歩時畑仕事の方々に声をかけ野菜や花を頂く等の付き合いがある。 ●散歩時は声をかけ合い親しみが持てる様になっている。花を頂いた後、会う時はお礼を言い会話が出来る様心がけている。 ○最近は近隣の方とも顔馴染みになり利用者様に気軽に声をかけて頂ける時もある。	○ ●近所の方の中に入り一緒に会話出来る様に行きたい。
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	◎児童館での子供達との交流、地元の文化祭への展示作品を通し交流を図っている。神社の清掃、子供会等、行事には招待し交流を深めている。 ●児童館の行事や文化祭等の行事には出来るだけ参加し交流を持つようになっている。 ○地域の小学校、児童館、町役場での行事に参加し交流を図っている。	○ ○地域での行事には進んで参加したい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	◎老人会への参加の推進を図る為、地域の実情にあわせて理解を深める為の手段を工夫している。 ●散歩等で会った時は会話が持てる様心がけ相談しやすい雰囲気を作る様に心掛けている。 ○ホームでの暮らしは普通の生活である印象である事を理解して頂ける様に話し合いを持っている。		
(様式1)				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	◎評価はホームをより良いものを見出すプロセスである事は理解されている、結果を見て良い所、悪い所を話し合い、改善出来るよう取り組んでいる。 ●自己評価の意味を知り先輩やリーダーから指導をその都度受けている。 ○自己評価、外部評価の内容については理解に悩む所がある。	○	●色々なタイプの認知症の方がみえるので、その方に合った話の仕方や対処の仕方を勉強して行きたい。 ○勉強不足の為色々な方よりアドバイスを受け取り組みたい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	◎会議では毎月の行事、利用者様の状態を報告し家族の方と共に話し合う場面も多い。参加者と昼食を共にし利用者様の様子を見て頂いている。 ●会議での結果を聞き改善出来る所は話し合いを行っている。 ○会議では利用者様の生活の様子を見て頂き会議の内容はリーダーより報告を受けている。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	◎代表が積極的に呼びかけて様々な形で支援を受けている。 ●携わっていません。 ○携わっていません。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	◎職員には説明し、支援の必要な家族には積極的に支援している。 ●周りの情報や勉強会の中で考える機会を頂き積極的に支援出来る様にしていきたい。 ○ミーティングや管理者の方からの情報を聞き勉強して行きたい。	○	◎経験の浅い職員や経験年数を重ねた職員にも理解しやすい様レジメを作り勉強会を設けたい。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	◎全体会での勉強会、ミーティングでも話題に多く取り入れている。日々のケアでも防止に努めている。 ●常に職員同士の考え方を共有しながら気持ちにゆとりを持って業務が出来る様にしています。 ○ミーティングで話し合いをしています。勉強をしています。利用者様の様子の変化を見逃さない様職員で目配り、気配りをしています。	○	◎馴れ合いになったり、疲れたりしている時には言葉がきつくなる職員がいるがその都度注意し話し合う様にしている。全体の意識を高めていきたい。 ●勉強会を開いたり解らない事は直ぐに聞けるようにしている。 ○家族にも利用者様と話をされた後変化がないか伺うように心配りしている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	◎契約時、重要事項、入居者の権利擁護等を説明し、時間を使って説明する事でご家族の同意を得ている。 ●携わっていません。 ○携わっていません。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	◎利用者様の苦情等はないが、職員間で対応策の取り決めをして速やかに対応、上司に報告、検討を行う様にしている。 ●常に傾聴する時間を持ち不満や気持ちを話して頂ける様心がけている。 ○利用者様の気持ちを大切に納得される様話合っている。	○ ●利用者様の気持ちを職員間で共有出来る様、話し合っている。 ○利用者様の個別支援を行い本人の希望を多く支援して行ける様にしたい。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	◎ホーム便り送付の際、金銭出納長の写しと一緒に家族に送り報告をしている。来訪時には暮らしぶりや健康状態の気づきを報せている。遠方の方には定期的に電話、手紙等で報せている ●ご家族との信頼関係がもてる様にホームにみえた時は出来るだけ声をかけ利用者様の事を伝える様にしている。 ○来訪された時に報告したり、チアフル新聞により近況報告をしている。	●月に1度のチアフル便りの中で報告したり利用者様に手紙を書いて頂くようにしていきたい。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	◎ご家族の来訪時に意見をサービスの向上に活かす様、日頃より気軽に話して頂ける様呼びかけている。玄関にご意見箱を設置し利用者、ご家族の意見が何時でも聞ける様にしている。 ●ご家族の思いを知り何時でも前向きに対応していける様にしている。 ○ご家族の意見等は傾聴し判断付かない時はリーダーに相談している。	○ ○今後家族より苦情があった場合はリーダーに相談し職員の 間で共有するよう心がける。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	◎職員の意見等を積極的に話せる様、管理者の方より話かけて改善に向けていける様確認し合う場が多い。 ●思った事や考えた事はリーダーを通じ伝えて頂けるようにしている。 ○問いかけには対応して頂ける。迷いがある時はアドバイスして頂いている。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	◎急に休む職員がいても管理者がカバーしたり、他のユニットからの応援体制を作り調整している。各ユニットの職員もサポートしている。 ●自分の事だけを考えず他の職員の事も考えた勤務体制に心がけている。 ○シフトに基づき勤務しています。	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>◎混乱を招かない様他の職員でサポートしている。日頃より全職員が行き来する場面を設け馴染みの関係を作っている。</p> <p>●異動や他のフロアーへの応援に行っても利用者様に不安を与えない様散歩時や共通の行事には声をかける様にしている。今の所異動はない。</p> <p>○退職者が出た場合には利用者様ダメージには「体調が悪く休んでいる」と話をしている。問いかけがない場合には自然にしている。</p>	
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	○	○都合のつく限り、研修に参加したいと思っている。
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	○	◎勤務体制により不参加もある。全体の職員に勉強会の機会を多く作りたい。
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	○	●月一度の食事会でストレスを取り除いている。
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	◎本人の現状を確認し他の入居者との共同生活に適しているかを見極め、しばらく遊びに来て頂く等、本人が馴染めるかを確認しあっている。初期段階では1対1の対応が多い。 ●携わる事はないですが、リーダーから話を聞き自分なりに理解に努めている。 ○携わっておりません。	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	◎時間を掛けて説明し確認し合っている。本人の望む事を家族との聞き取りの中で受け止め安心して頂ける様努力している。 ●携わることはないです。 ○携わっておりません。	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	◎入居継続を可能にする為家族、医療と連携を取り、時間をかけて話し合う機会を設けている。 ●携わることはないです。 ○携わっておりません。	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	◎環境の変化には特に気を配り、家族の方と連携を図り、本人の不安を和らげる努力をしている。複数の職員の意見を聞き検討している。 ●徐々に馴れていき不安を和らげる様にしていきたい。 ○生活歴をリーダーより聞きその方の気持ちを理解し徐々にホームの生活に馴染んで頂ける様努めている。	○ ○ホームに馴染みその方の趣味を聞き楽しんで頂く様心がけている。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	◎人生の先輩として尊厳を抱き、教わる場面を多く作り出している。個別対応をする事で喜怒哀楽を共にする事も多い。 ●時には自分の子供の話をし相談にのって貰ったりし頼り、教えて貰う事で支えて頂き自分の気持ちも話してもらえ様にする。 ○歩まれてきた人生論を伺い現在との違いを話し合い喜怒哀楽を共有している。	○ ●利用者様と同じ関係ではなく、個々に合わせたケアワーカーになって行きたい。 ○利用者様と信頼関係を築ける様その方の生活状態を把握するよう心がけている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	◎家族の方が来訪された時は意見・希望を気軽に話せる雰囲気作りをしている。家族の方には、協力をお願いし本人が安心して生活出来る様支援している。 ●利用者様の様子をご家族に話したり、写真を見て頂き安心して頂く様にしている。 ○ホームで生活されている様子を家族に伝え喜怒哀楽を共有し利用者様が安心して暮らせるよう心がけている。	○	○家族との信頼関係を築ける様努力しています。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	◎ホーム便りで本人のり等で活躍ぶりを報せたり年間行事にはご家族を招待する事で好い関係作りに向け努力している。 ●ホームでの行事には声かけを行ったり本人の言葉を添え便りを送ったり、良い関係でいられる様にしている。 ○利用者様がホームで安心して過ごされ家族の方から「良くして貰っているよ」との言葉が聞ける支援に努めている。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	◎本人の望む事を多く取り入れる事で今までの生活との変化のない様努力している。 ●本人が望む事は出来るだけ受け入れていき疲れないうように気配りをしている。 ○馴染みの方が来訪して頂ける様明るく話しやすい居場所作りが出来る様支援している。		●外出時には本人に知られたい事は耳にいれない様気配りをしている。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	◎仲良し同士が過ごせる様配慮したり、世話役の人の力を発揮出来る場面作りを支援し、個性を活かす事が出来る様努力している。 ●個人の好きな事を活かし出来る人を集め一緒に楽しめる時間を作る様にしている。 ○職員が間に入り共通の話題で楽しんで頂いたり、外出を共にする等、同じ空間での生活を心掛けている。	○	●利用者様が仲間だと思える空間や時間を作る様にしている。
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	◎電話等でホームの現状を伝えたり手紙をやりとりする家族がいる。 ●いつでも会いに来て頂ける様な雰囲気作りを心がけている。 ○携わっていません。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	◎職員間での情報を共有する事で本人の希望に繋がるケアをしている。個別のケアには力を入れ実施し対応している。 ●本人の思いを聞き希望の方向へ向かえる様リーダー、職員と共有し話す様になっています。 ○その方の気持ちを察し希望に添えるよう職員と話し合い、意向の把握に努めている。	○ ●自分中心で言っている事や行っている事もあったかもしれないので1人一人の意思を聞き入れ取組んで行きたい。 ○日によって異なる為個別対応するようにしている。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	◎アセスメントを作成しホームでの生活を支援出来る様職員間で把握している。 ●1人1人の生活歴を知り安心して過ごして頂ける様に心がけている。 ○今迄暮らして来た本人の生活歴を把握し、落ち着いて毎日が過ごせるよう心がけている。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	◎生活のリズムは出来ている。職員間での把握も出来ており支援している。 ●生活のリズムや病歴を把握し支援する様にしている。 ○体調を把握しながら退屈されない様、外出レク等生活に変化をいれる。	
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	◎ミーティング、カンファレンス等で一人一人のニーズに合わせた介護計画を話し合い、ケアに活かしている。 ●ミーティングの中で介護計画を話し合い作成している。 ○職員の間でミーティングを持ち個別支援の計画書を作成している。	○ ●今までのケアの中で良かったこと出来なかった事を話し職員間で情報を共有するようにしている。 ○家族の来訪時利用者様の印象を聞きミーティングで話し合う様にしている。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	◎三ヶ月毎に見直し、評価を行い新しい介護計画書を作成し其の都度ご家族に報告し了解を得ている。 ●現状の変化を見落とさず良い方法へ向けれる様話し合いを持ち作成している。 ○三ヶ月を経なくても生活に変化が生じた時はミーティングを行いご家族と連絡を取りながら見直しを行い新しい介護計画書を作成している。	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	◎問題を把握しながら話し合い、今後の介護計画の見直しに活かしている。 ●日常生活を観察しいつもと違う気づきを見落とさないように努めている。 ○毎日生活記録を記入しどの職員が見ても解るようにしている。	○	●利用者様に対しどの職員がどんな対応をしたかを把握する様にしている。 ○ミーティングでは利用者様の対応が職員で共有出来る様話し合っている。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	◎同じグループの小規模多機能の受け入れ体制がある。 ●他のフロアへ行き来し交流が持てる様に心がけています。 ○各自に合った支援に基づきグループ内の小規模多機能を利用する等対応している。		○利用者様の不安を取り除く様に協力しています。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	◎手芸・習字等はボランティアの支援で交流を深めている。市の活動への参加も検討しながら行っている。 ●手芸・習字・コーラス等ではボランティアの方と利用者様が交流出来る場面作りも支援している。 ○地域の方々によるボランティアで手芸、コーラス、大正琴等を披露して頂いている。	○	●一人でも多くの地域の方が参加出来るように声かけに気をつけている。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	◎管理者は他のケアマネとの交流も多く情報交換を行なっている。移動美容室、マッサージ・リハビリ等の外部サービスを活用している。 ●本人やご家族の希望でマッサージ等の外部サービスを利用している。	○	●利用している経過を家族に報告し、安心して頂く様にしている。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	◎運営推進会議では地域包括支援センターの職員の参加が毎回あり、管理者、職員が情報交換を行っている。 ●携わっていません。 ○携わっておりません。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	◎入居時に家族と話し合い、受診する医療機関を個別に決めている。ホームのかかりつけ医に受診出来る様対応している ●個別の受診機関が決まっているが家族と連絡を取り合い受診している。又報告も行うようにしている。 ○提携医の往診もあり急病時は家族と連絡を取り受診している。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	◎かかりつけ医ではないが入居時の診断で職員が相談出来るような関係は保たれている。ホームのかかりつけ医の協力も得られ得ている。 少しずつ認知症に対する理解も深まり、専門医との相談も少しずつ容易になって来ている。 ○認知症の全てを理解するのは難しいので、解らない時は医師、リーダーに相談している。	○	●主治医の五藤先生に月に一度往診して頂いている。 ○認知症は色々なケースがあるのでもっと勉強して行きたい。
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	◎日常的に看護師と職員の交流があり気軽に相談出来る関係が保たれている。看護職員も各ユニットの業務に携わり利用者との関係も好い。 ●看護師職員の導入で、何かとその都度相談が出来る様になった。 ○ホームに看護師がいるので、利用者の日常生活での異変を連絡し指示を仰いでいる。	○	●月に数回看護師との勤務があり、解らない事は直ぐに相談出来るので安心感がある。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	◎見舞い等を活用し早期退院に向けてソーシャルワーカー等と話し合い、退院後の受け入れを円滑に出来る様ご家族と協力しながら行っている。 ●携わった事はないが、リーダーからの情報により受け入れ体勢を準備している。 ○携わってはないが、利用者様の状態によってはお見舞いに行ったりしている。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	◎ご家族の意向を尊重し今後の方針を話し合った上で、掛り付け医と連携し対応出来る様になっており、職員間でも同じ認識を共有している。 ●まだ経験はありませんが家族の思いをリーダーから聞き考え方を共有している。 ○リーダーの指示を仰ぎ、本人が出来るだけ苦痛を感じずに終末期を迎えられる様支援したい。	○	●終末期の理解がまだ出来ていませんが機会があれば研修等に参加したいと思います。 ○リーダーにアドバイスを受れたり、研修等で勉強します。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	◎かかりつけ医の確保はあるが、現在の所終末期の利用者は居ない。入居者の殆どが特養の申し込みを既にされている。 ●その様な利用者様はみえないが直ぐに対応ができるように報告連絡の徹底に心がけています。 ○日頃の生活に変化、体調の変化に気配りし職員の間での報告連絡相談を心がけている。	○	◎今後の職員体制等も含め、終末期に対する勉強会を開き職員の意識を高めて行きたい。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p> <p>◎ご本人のアセスメントを作成し、環境の変化によるダメージを防ぐ為、ケアの継続的な支援を受けられる様情報の伝達をきちんとしている。 ●携わった事がないです。 ○携わっておりません。</p>		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p> <p>◎本人の尊厳を保ち職員の意識を向上させる様教育をしている。年長者としてのプライドを傷つけないような言葉かけをしている。 ●利用者様1人1人に合った言葉かけ対応するように心がけている。 ○その方の意思を尊重し自分の声かけや態度に注意している。</p>		
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p> <p>◎意図的に引き出す取り組みを行う事で本人の希望や意見を中心に支援している。本人が自分の意思で決定出来る様支援している。 ●傾聴する事により希望や思いを知り本人が自分の意思で決定出来る様に助言している。 ○コミュニケーションを取りながら本人がどの様な気持ちでいるのか理解するよう心がけ、声けをしている。</p>		
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p> <p>◎その人らしい満足感のある生活を送れる支援が出来る様全職員を指導をしている。職員により差が出る時もある。 ●個人のペースに合わせたい気持ちがあるが業務に追われて出来ない事がよくあった。出来る限りで今やりたい事をして頂ける様に努めている。 ○その時々本人の気持ちを傾聴し、どのように暮らして行きたいのかを確認しながら支援している。</p>	○	<p>◎職員の少ない時間帯等で利用者の不安や混乱が起りやすい時も柔軟な対応が出来る様工夫して行きたい。新しい職員の対応では不穏になる時もあり情報の共有を徹底する。 ●職員の人数によっては対応できなかったり、他の方との差別を殊の外気にされる方が居て難しい事もある為工夫して行きたい。</p>
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p> <p>◎夏祭り等には浴衣を着て頂いたり楽しんでる。場面に合わせ入居者の好みを大切に服装の支援をしている。 ●家族との話し合いと希望により理髪されています。 ○移動美容室を利用し本人の希望で理髪されている。利用者様の好みで服装を楽しまれている。</p>	○	<p>●外出時は何時もと違う上着を着たりし、お洒落も楽しんで頂ける様にしている。○お気に入りの服だと2～3日着られる方もいる為声かけし一緒に洗濯している。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	◎食事のメニュー作りから参加して頂き、買い物も一緒に行き調理・配膳・洗物も一緒に行っている。季節感のある献立作りにも一緒に参加して貰い、希望を取り入れている。 ●少しずつ面倒がられるので声かけにより少しでも一緒に行って行ける様にしている。 ○好きな食べ物を把握し、利用者が負担にならない程度に調理や片付けを職員と一緒にしている。		
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	◎おやつ時は本人の嗜好にあわせている。お酒を飲まれる方もおられる。お抹茶を頂く時もある。 ●いつでもお茶は自由に飲める様にし、おやつも好きな物を選べる様にしている。 ○おやつ時は好きな飲み物、菓子等を選んで頂き、タバコを吸う方には火の元な安全を目配りしている。		◎本人の好みや肥満、高血圧、コレステロール等、疾病の原因に繋がらない様、職員向けに栄養学の勉強会を開催したい。
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	◎戸外での散歩、食材やメニューを工夫して、自然排便を促す様努力している。排泄チェック表を作成しプライドに配慮しつつさりげなく誘導している。 ●排泄チェックを記入しスムーズに誘導が出来ている。 ○一人一人の排泄状況を把握する。下着を汚されてもさり気なく対応し、普通の下着で生活出来る様に支援する。		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	◎適切な言葉がけで拒否も少ない。気のあった方との入浴もあり楽しんで頂いている。拒否の方には足浴を行い無理強いしない様にしている。 ●入浴の声かけに気をつけ気持ちよく入って頂ける様にしている。 ○入浴を楽しみにされている方にはコミュニケーションをとりながら自分で洗身出来る方でも時々手伝うと喜ばれる。	○	●入浴拒否の方への誘い方を職員間で話し合い、スムーズに入って頂ける様にしたい。
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	◎日中の活動に合わせてソファにて昼寝をされる方や、自室で休息を取る方もいる。 ●個々の生活のペースを大切にし自室で休息を取って頂く方もいます。 ○各自が自由に自室、ソファで休息が取れる様にしている。天気の良い日は布団を干して貰い、夜間気持ちよく休んで頂いている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	◎各自の習慣や趣味を活かし楽しませられている。日常生活の中で役割や出番を作り出し、時には個別対応している。 ●個別の対応がしづらい時は職員数が多い時間帯を見計らって個別ケアの活動を行っている。 ○各自の性格を把握し他者との関係を調整しながら家事を手伝って頂き、不快感が残らない様配慮している。又、外食、ドライブ等で気分転換をして貰っている。	○	○時々職員と個別で外出し、好きな事を楽しんで頂く支援もしていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	◎入居者一人の力量に応じ支援している。個人の財布を用意し本人の希望の品物が購入出来る様にしてある。 ●欲しい物がある時は近くで見守り助言させて頂き自己決定して頂ける様支援している。 ○買い物をした時は同行し好きな物を購入して頂く。各自の財布が準備してある。(家族より預かっている)		◎レベル低下でお金の支払い方を忘れかけている方への支援を職員間で話し合う。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	◎利用者の外出については日課の様に話題にし、支援している。本人の希望場所への外出も多い。家族と外出される方もおられる。 ●個人の希望で外出を大切に支援させて頂いています。 ○日常会話の中で「どこどこに行きたい」との希望を大切に外出を支援している。	○	●月に1度は遠足に出掛けたり月に3~4回のモーニング、ランチ等お天気や利用者様の様子を見て季節に見合った行事を沢山企画し、実施している。ピクニックや散歩にも多く出かけている。 ○個別で出かける事も支援して行きたい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	◎ご家族にはホーム側より働きかけている。希望に応じ応えられる様、取り組みが出来る様努力している。 ●さり気なく家族との時間や外出がもてる様にしている。 ○家族と話し合い利用者様の希望になるべく応じられるよう支援している。		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	◎年間行事の招待状は自筆で送られる方もおられるが、ご自分で電話を利用出来る様公衆電話も設けている。 ●運動会や夏祭り等の行事にはホームからご家族に便りを出す、ご自分で書ける方には言葉を添えて頂ける様にしている。 ○本人の希望によりいつでも対応出来る様公衆電話が設置されている。		◎字を忘れてしまわれる方の為交換日記等利用出来る支援をして行きたい。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	◎家族の方の来訪は多い方である。気軽に来やすい雰囲気作りをしている。 ●いつも明るく気軽に来て頂ける様な雰囲気作りを気をつけている。 ○温かく出迎え利用者様と安堵して頂ける様努めている。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	◎身体拘束により本人が受ける精神的なダメージを理解している。職員間で話合っている。 ●理解も深まっては来ているが解らない事はリーダーに聞く様にしている。 ○ミーティングで話し合い勉強しています。	○	◎職員間の差が出る時もあり、徹底的に理解出来る様努力して行きたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	◎居室は特別な方のみ自己で管理されており、職員も本人のくせを理解しており見守りや連携プレーも出来ている。 ●家庭的な雰囲気を大切にしているので見守りのみで対応出来る様に心掛けている。 ○利用者様の行動を把握し鍵をかけなくてもよい様に目配りしている。	○	◎勝手に外に出て行かれそうな方への目配りは職員間で工夫し対応も共有している。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	◎見守りやすい位置に職員がいる事を徹底している。 ●居場所を把握し安全に生活して頂ける様に気をつけている。 ○プライバシーを尊重し、職員として利用者様の気持ちを考え常に安全に生活して頂ける様に気を付けている。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	◎誤飲、事故を防ぐ為管理する場所を決めている。 ●危険な物は場所を決め管理している。 ○針道具等危険と思われる物品は別管理しており、必要に応じ見守りの中使用して頂いている。	○	○職員間での連携、伝達を怠る事のない様にしている。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	◎講習会を開いたりミーティングでの話し合いに取り入れている。利用者個人の持つリスクを良く理解している。 ●目配り気配りをし職員の声かけも気をつけている。 ○喫煙場所の設置し、食事時は各テーブルにスタッフが付き、服薬時は利用者様に手渡し、服用を確認している。	○	●事故が起きてしまい改めて気配りが欠けていた事に気付きました。未然に防げる事の話し合いや対処方法等リーダーを中心に相談して行きたいと思います。 ○職員間での連携、連結を怠る事のないようにする。
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	◎救急法を学んだ事を話題にし認識を高める様努力をしている。 ●リーダーに指示を仰ぎ素早く対応出来る様にしている。 ○緊急マニュアルを把握し応急処置の講習を受けている。急変時には落ち着いて行動したい。	○	●出来るだけ講習会に参加し知識を高めたい。 ○定期的に職員の間で応急処置方法を話し救急法を練習する。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	◎定期的に避難訓練を行っている。マニュアルも作っている。 ●定期的に避難訓練を行っている。その時の利用者様の動きに対応して避難出来る様にしている。 ○非難訓練を時々行っている。	○	◎夜間帯での事故発生の不安を抱える職員に対し、夜間で訓練方法はないだろうか？と思う。実現に繋げていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切に した対応策を話し合っている	◎状態に応じた状況を家族に説明し、ご家族への連絡は常にしている。 ●日頃から個人のリスクについては職員でよく話し合い、リーダーからご家族に相談し対応を行って頂いている。 ○ご家族には現在の状況を理解して頂き、職員間で話し合いその方のレベルにあった介護を心掛けています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	◎職員間で報告する事を義務化されており、状況に応じ対応している。早期発見・早期対応を徹底している。 ●体調の変化に気づき早めの対処が出来る様職員間での申し送りを行っている。 ○日々の見守りで体調の変化や異変の発見に努め、目配り気配り心配りをし情報を共有している。	○	◎1人の判断ではなく全体で把握し検討していく事が日常的になり、職員の差はあるが意識も深い。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	◎薬情報をファイルし職員間で共有している。日頃よりチェック、申し送りがなされ体調に変化がある時はDrに相談し対応している。 ●服薬の用法を知り体調の変化に見落としがないう様に気をつけている。 ○薬情報を把握し、服薬時は名前を確認、其の都度手渡し服薬を確認している。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	◎食材やメニューを工夫したり、散歩・運動を積極的に取り入れ、出来るだけ自然排便が出来る様努めている。 ●食事や水分量には気を付け適度な運動をする様に働きかけている。 ○調理の工夫や水分摂取量に気を付けている。便秘の方には医師や看護師に相談し対応して貰っている。	○	○食物繊維が多い野菜を多く取り入れる様にしている。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	◎毎食後、実施されている。義歯の管理は確実にされている ●食後の口腔ケアに気をつけ気持ちよく行って頂ける様にしている。個々に合った介助をしています。 ○食後は必ず声かけし見守っている。出来ない方には介助している。	○	◎レベル低下に伴い口腔ケアが出来ない方に対し検討する。家族の協力も取り入れているが、今後の課題にしていく。 ●義歯の置き場を忘れ探される事がよくあったので職員間での声かけもきちんとして行きたい。
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	◎水分補給は多い、偏りがないう様に心がけている。残食量を把握し入居者個人に合わせている。飲み込みの悪い方には誤嚥防止の為、トロミ剤を使用している。 ●個人の摂取量を知り、個々に合わせた食事摂取が出来る様にしている。食事摂取のチェック表を作成し、活用している。 ○献立を立てバランスのとれた食事を提供し水分補給を促している。	○	○魚、肉を一日置きに献立に取り入れ酢の物、野菜サラダも多く取り入れている。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	◎感染症の流行には随時対応している。 ●外から戻った時は手洗いうがいをして頂く様にしている。 ○インフルエンザの予防接種を行い、外出後はうがいや手洗いを励行している。	○	◎職員の少ない時間帯等の利用者の不安や混乱が起りやすい時の柔軟な対応が出来る様工夫していきたい。中には勉強不足の人もある。自分も含めて勉強会の機会を増やし誰でも理解出来る様なレジメを作る努力をする。 ●中々勉強する機会が取れずにいたが、今後はリーダーと相談しながら勉強を続けていきたい。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	◎調理用具の消毒は日を決めて行っている。一日置きの買い物で古い食材は使用していない。 ●1日おきの買い物で新鮮な物を口にして頂ける様にしています。 ○調理器具の殺菌実施、食材は一日置き of 買い物で新鮮な物を提供している。	○	●食器・布巾等殺菌消毒をしています。
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	◎玄関にはベンチがあり気軽に休める様になっている。事務所からさりげなく出入りが見える様になっているが、事務所側からの威圧感はない。 ●玄関は広く、段差のない作りになっている。 ○玄関先の花壇には四季の花を植え明るい環境作りを心がけている。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	◎日中フロアで過ごされる方が多いのは、明るく、安心して寛げる場となっているあかしと考えられる。シンクは背の低い方にも対応出来る高さになっており、ホーム側より入居者の好みにあわせている。 ●共有フロアには花や外出の写真を貼り心地よく生活して頂ける様にしている。 ○フロア、廊下には季節の花を飾り、共用空間は一緒に掃除をし居心地良く生活出来る様にしている。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	◎入居者同士の関係の変化に応じ、環境を作っている。1人になれるスペース作りも大切にしている。 ●1人でゆっくり過ごせる時間も大切にしながら共有スペースでは楽しく過ごせる様工夫している。 ○ベランダにテーブル椅子を置き一人過ごせる場所があり、食卓では気の合う利用者様と席を合わせる等工夫している。	○	◎個々の状態の変化、利用者様同士の関係の変化に応じた環境作りに直ぐに対応出来る様職員の指導を徹底していきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	◎日中は共用空間で過ごされる方が多いが、好きな時に眠るだけの方だけの方もいて個々その人らしさが主張されている。 ●ご家族と相談し居心地良く過ごせるスペースになっている。 ○生活に支障をきたされないよう本人の意向を取り入れ家族と相談し工夫している。	○	◎ご家族の中には全てを新しいもので揃える方もおられるが、ホームでは少しでも日々を安堵して過ごして頂ける様、本人の馴染みの物の持ち込みを提案している。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	◎冷暖房の温度調節は適切に行っている。出来るだけ自然環境に近い環境で過ごして頂ける様に努めている。 ●ご自分で換気や温度調節が出来ない方には職員が支援助し行っている。 ○各部屋に換気扇、空調設備が整っており季節に応じ対処している。		
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	◎利用者様の状態を見ながら随時環境の改善に取り組んでいる。台所は対面式となっており高さもは利用者様の負担にならない様配慮している。 ●廊下、階段等には手摺りが設置されており、利用者様が毎日安全に過ごして頂ける様にしている。 ○ホーム内は全てバリアフリーとなっており、トイレ内には全て安全手摺りが設置されている。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	◎以前に室内の環境で混乱を招く入居者が居り日々調整、工夫を行っていたが、現在の処混乱や失敗は無い。台所・ゴミ箱は戸感わない様名前を大きく表示し分かり易くしている。 ●1人1人にあったフォローや支援を行い、満足して過ごして頂ける様努力している。 ○一人ひとりの生活能力を察知し、トラブルが起きない様職員で話し合い情報を共有している。	○	◎利用者様のレベル低下に合わせて対応出来ない職員への対応を考え説明の徹底。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	◎植木の手入れ・畑仕事など楽しみ場を作り其々の役割の中で残された機能を活かす様取り組んでいる。日向ぼっこを楽しんだり、戸外で過ごす時間も多。 ●お天気が良い日はベランダで新聞を読んだりお話しが出来る様テーブル、椅子を設置、自由に活用して頂いている。 ○玄関先には花木を植え目の保養をして頂き、広いベランダには所々に安らぎ様の椅子を設置、団欒の場となっている。		

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	3	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	3	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	3	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	3	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	2 1	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	3	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	3	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	3	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	3	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	2 1	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	3	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	2 1	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	3	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

◎「笑う門には福来る」をモットーの腹の底からに一日一度大笑いし「仲良く長生き！」と皆で助け合い生活し弱い人を助けている光景はいい感じですが、時には喧嘩あり、笑いあり、涙ありの楽しい大家族です。仲良しの別離、新しい方との出会いで職員の意識の変化もみられ日々紛争中ですが、笑顔の絶えないユニットです。

●この一年で少しずつ心に余裕が持ててきたのは良かったが、反面油断したり見落としする事もあり事故に繋がったケースもあるのでもう一度気持ちを入れ替えていきたいと
思います。個別の対応をする事で他の方が不満に思えない様に上手く取り組んでいきたいです。

○利用者様の希望を傾聴しご家族が一日でも多く来訪して頂ける様心がけている。又、ホームやホーム外での食事を一緒にする時間を作ったり、催しを企画し一緒に楽しんで頂き日頃の様子を報告、利用者様が穏やかに過ごされている様子を見て頂いています。